

第 70 回日本細菌学会関西支部総会プログラム
2017 年 11 月 25 日(土)

受付開始 (I-site なんば入口) 9:10-

<カンファレンスルーム C2, C3>

開会の辞 9:25- 9:30

一般演題1 (演題番号: 一般1-4) 9:30-10:18

[9:30-9:54] 座長 西川禎一(大阪市立大学)

一般-1

食中毒事例より分離された色素非産生ブドウ球菌株の解析

○若林友騎¹、梅田薫¹、余野木伸哉¹、中村寛海¹、山本香織¹、
久米田裕子²、川津健太郎¹

1 大阪健康安全基盤研究所微生物部、

2 大阪府立大学 21 世紀科学研究センター微生物制御研究センター

一般-2

A 群レンサ球菌における菌体表層糖鎖は選択的オートファジーの標的となる

○古田紀之、野澤孝志、中川一路

京都大学大学院医学研究科微生物感染症学

[9:54-10:18] 座長 中川一路(京都大学)

一般-3

近畿の河川表層水中の非結核性抗酸菌の分布実態

○西内由紀子¹、有川健太郎²、田丸垂貴³、吉田志緒美⁴、岩本朋忠²

1 大阪市立大学医学部刀根山結核研究所、2 神戸市環境保健研究所 感染症部、

3 大阪健康安全基盤研究所 微生物部、

4 近畿中央胸部疾患センター 臨床研究センター 感染症研究部

一般-4

NDM-1 及び薬剤耐性遺伝子群を染色体 DNA に保有する *Klebsiella pneumoniae* の
ゲノム解析

○坂本典子¹、明田幸宏^{1,2}、菅原庸¹、竹内壇¹、山本倫久²、鈴木仁人³、
Warawut Laolerd⁴、Pitak Santanirand⁴、元岡大祐¹、中村昇太¹、岡田和久¹、
柴山恵吾³、朝野和典²、浜田茂幸¹

1 阪大・微研、2 阪大・医、3 感染研・細菌第二部、4 マヒドン大学

奨励賞エントリー演題口頭発表(演題番号:若手1-16) 10:18-10:50
座長 松尾栄子(神戸大学)、三宅真実(大阪府立大学)

若手-1

緑膿菌多剤排出ポンプ MexB の基質認識に関する新たな知見

○中尾香^{1,2}、櫻井啓介³、山崎聖司¹、西野邦彦^{1,2}、山口明人³、中島良介¹

1 大阪大学産業科学研究所生体分子制御科学研究分野、2 大阪大学薬学部、

3 大阪大学産業科学研究所生体防御学研究分野

若手-2

Multidrug resistance: a specific novel substrate channel

in multidrug transporter AcrB

○Zwama, Martijn, Yamasaki, Seiji, Nakashima, Ryosuke, Sakurai, Keisuke,
Nishino, Kunihiko, Yamaguchi, Akihito

Institute of Scientific and Industrial Research, Osaka University

若手-3

嫌気環境におけるピロリ菌の酸化ストレス耐性増強機構の解析

○平田祥太郎¹、大坪亮太¹、黒田英介¹、三室仁美^{1,2}

1 大阪大学・微生物病研究所・感染微生物分野、

2 東京大学・医科学研究所・細菌学分野

若手-4

YjjJ および HipAB toxin-antitoxin system を介した細菌の休眠機構の解明

○前田有紀、山口良弘

大阪市立大学大学院理学研究科、大阪市立大学複合先端研究機構

若手-5

E. albertii 分離培地の開発とその評価

○長野恵吾¹、日根野谷淳^{1,2}、畑中律敏²、S.P. Awasthi²、山崎伸二^{1,2}

1 大阪府立大学 生命環境科学域 獣医学類 獣医国際防疫学

2 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 獣医学専攻 獣医国際防疫学

若手-6

腸管出血性大腸菌の病原性遺伝子発現に関与する non-coding RNA

○岸大地、顔宏哲、戸邊亨

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生体情報科学講座

若手－7

Piperine mediated cholera toxin production inhibition in *Vibrio cholerae* O1 El Tor variant strain

○Goutham Belagula Manjunath¹, Sharda Prasad Awasthi¹, M. Shamim Hasan Zahid¹, Hoang Hoai Phuong¹, Noritoshi Hatanaka¹, Shunji Aoki², Atsushi Hinenoya¹ and Shinji Yamasaki¹

¹ Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University

² Faculty of Pharmacy, Hyogo University of Health Sciences

若手－8

Functional characterization of two T3SS2-related proteins, VgpA and VgpB, of *Vibrio parahaemolyticus*

○Sarunporn Tandhavanant¹, Shigeaki Matsuda¹, Hirotaka Hiyoshi^{1,2}, Tetsuya Iida¹, Toshio Kodama¹

¹Dept. of Bacterial Infections, RIMD, Osaka Univ.

²Dept. of Medical Microbiology and Immunology, Univ. of California

若手－9

コレラ菌が産生する新規バリエーション 4 型コリックス毒素の性状解析

○藏樂建太¹、Shard Prasad Awasthi²、畑中律敏²、日根野谷淳^{1,2}、菊池賢³、山崎伸二^{1,2}

1 大阪府立大学 生命環境科学域 獣医学類 獣医国際防疫学

2 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 獣医学専攻 獣医国際防疫学

3 東京女子医科大学

若手－10

ボルデテラ壊死毒(DNT)の細胞受容体同定

○照屋志帆乃¹、福井理¹、中村佳司²、新澤直明³、堀口安彦¹

1 大阪大学微生物病研究所分子細菌学分野、2 九州大学大学院医学研究院細菌学分野、3 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科国際環境寄生虫病学分野

若手－11

リポソームを用いたボツリヌス A 型神経毒素のチャネル形成能の解析

○坂本陽、幸田知子、向本雅郁

大阪府立大学 生命環境科学域 獣医学類 獣医感染症学教室

若手－12

Characterization of cytolethal distending toxin-producing *Providencia rustigianii*

○J. Hassan¹, S. P. Awasthi¹, N. Hatanaka¹, P. H. Hoang¹, A. Shima¹, A. Nagita²,
A. Hinenoya¹, S. Yamasaki¹

1. Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University

2. Department of Pediatrics, Mizushima Central Hospital, Okayama

若手－13

ウェルシュ菌培養上清が線虫 (*Caenorhabditis elegans*) に及ぼす影響

○藤木侑里香¹、安木真世¹、中台(鹿毛)枝里子²、西川禎一²、三宅眞実¹

1 大阪府立大学 大学院生命環境科学研究科 獣医公衆衛生学教室

2 大阪市立大学 大学院生活科学研究科 食・健康科学講座

若手－14

健康者由来の分散接着性大腸菌は VI 型分泌装置によって上皮細胞からの IL-8 分泌を抑制する

○谷本 佳彦¹、竹内 成美¹、玉井 沙也加¹、柳田 咲¹、中台 枝里子^{1,2}、
山口 良弘²、西川 禎一¹

1 大阪市立大学大学院 生活科学研究科、2 大阪市立大学 複合先端研究機構

若手－15

A 群レンサ球菌が有する分泌タンパク質による細胞内侵入機構の解析

○藤博貴、中島慎太郎、相川知宏、野澤敦子、野澤孝志、中川一路
京都大学大学院医学研究科微生物感染症学

若手－16

肺炎球菌の CbpJ が肺炎発症に果たす役割の解析

○後藤 花奈、山口 雅也、広瀬 雄二郎、住友 倫子、中田 匡宣、川端 重忠
大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子感染制御学講座 口腔細菌学教室

<カンファレンスルーム C1>

奨励賞エントリー演題ポスター発表

10:50－12:00

ポスター撤収

12:00－12:30

昼食・休憩

12:00－13:00

<セミナールーム S3>

支部幹事・監事会

12:00-13:00

<カンファレンスルーム C2, C3>

支部評議員会・総会

13:00-13:30

特別公開講演1 (13:35-14:30) 座長 大澤 朗(神戸大学)

嶋 謙介 (ドイツ国立リューベック大学医学部 上級研究員)

「ドイツと米国における研究環境ーグローバルに活躍できる研究者になるためにー」

「宿主代謝活性を利用した病原性クラミジアの宿主内生存戦略」

休憩

14:30-14:40

特別公開講演2 (14:40-15:40) 座長 山崎伸二(大阪府立大学)

竹田 潔 (大阪大学大学院医学研究科 教授)

「腸内細菌と疾患との関わり」

休憩

15:40-15:50

一般演題2(演題番号5-8)

15:50-16:38

[15:50-16:14] 座長 中野隆史(大阪医科大学)

一般-5

p14 is required for the TAX1BP1-mediated xenophagy against

Group A Streptococcus

○林慶餘、野澤敦子、野澤孝志、中川一路

京都大学大学院医学研究科微生物感染症学

一般-6

オルビウイルス構造タンパク質VP6の細胞内局在とgenome packaging機能に関する研究

○松尾栄子、佐伯圭一、河野潤一、Polly Roy

神戸大学大学院農学研究科資源生命科学専攻応用動物学講座

[16:14-16:38] 座長 向本雅郁(大阪府立大学)

一般-7

Helicobacter pylori の標的細胞へのウイルスによる付着効率の増強

○呉紅、中野隆史、鈴木陽一、佐野浩一

大阪医科大学 予防・社会医学講座 微生物学教室

一般-8

Gain-of-function cDNA ライブラリースクリーニング法によって同定された
細胞性因子のフラビウイルス感染に対する影響の解析

○鈴木 陽一、呉 紅、中野 隆史、佐野 浩一

大阪医科大学 予防・社会医学講座 微生物学教室

休憩

16:38-16:50

若手プロジェクトチーム企画シンポジウム

16:50-18:05

WS-1 (16:50-17:15) 座長 松田重輝 (大阪大学 微生物病研究所)

石井 英治 (京都大学 ウイルス・再生医科学研究所)

「新生鎖によるタンパク質膜透過能の監視を介した海洋性ビブリオ菌の塩環境適応」

WS-2 (17:15-17:40) 座長 林直樹 (京都薬科大学)

土門 久哲 (新潟大学大学院 医歯学総合研究科)

「自己溶菌を起点とする肺炎球菌の感染メカニズム」

WS-3 (17:40-18:05) 座長 山口雅也 (大阪大学)

河野 正充 (和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

「仔マウスを用いた肺炎球菌の兄弟間伝播モデルの確立とボトルネック効果の検討」

閉会の辞

18:05-18:10

<オルケスタ>

情報交換会・奨励賞授与式

18:30-20:30